

道を歩く

アスファルトの亀裂が続いている
それを境界にした片勾配
空までが傾いているような

辿っていこうか
まだ日は高い
こういう傷には親しい

錆びたガードレールが続いている
それを境界にした草むら
道がゆるやかに曲がっていく

辿っていこうか
まだ日は高い
こういういびつさには親しい

滅び行くものとしての時間
それが歩いてゆく
僕より先に

辿っていこうか
まだ日は高い
こういう速度には親しい

物理的広がりとしての“世界”
それを拒む者たち
既に都市は遥か彼方後ろになっている

歩こうか
まだ日は高い
こういう1日には親しい

(2005.3.8)